

# シスコ コラボレーション ソリューション: Microsoft v2 との相互運用性: Microsoft Lync 2013 の移行

最終更新日: 2017 年 12 月 8 日

## このデモンストレーションについて

このデモンストレーションでは、シスコのコラボレーション ソリューションで使用できる機能によって、全社的に生産性を向上させ、コミュニケーションを改善する方法を示します。

- [要件](#)
- [このソリューションについて](#)
- [トポロジ](#)
- [セッション ユーザ](#)
- [はじめに](#)
- [シナリオ 1: Microsoft Lync 2013 と Cisco Unified Communications の相互運用性](#)
- [シナリオ 2: Microsoft Lync から Cisco Unified Communications への移行](#)

## 要件

次の表に、本デモンストレーションに必要な要件の概要を示します。

表 1. 要件

必須	オプション
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco AnyConnect がインストールされているラップトップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2 台目のラップトップ</li> <li>• ルーター (Cisco dCloud 用に登録および設定済み)</li> <li>• Cisco Unified IP Phone 88XX または 89XX</li> <li>• Cisco DX70 または DX80 デバイス</li> <li>• Cisco SX10 または SX20 ルーム システム</li> </ul>

## このシスコ ソリューションについて

**Cisco Jabber** は **Cisco Unified Communications** インフラストラクチャに必須のコンポーネントで、音声、ビデオ、メッセージング、およびプレゼンス機能を幅広いデバイスのソフトウェア ソリューションとして提供します。Cisco Unified Communications アーキテクチャにおける Cisco Jabber および Cisco UC ハードウェア エンドポイント機能のうち、あまり知られていないものの 1 つは、Microsoft 環境内の Microsoft Lync クライアントと共存できるという機能です。

このデモンストレーションでは、Cisco UC デバイスの音声、ビデオ、メッセージング、およびプレゼンス機能が、Microsoft Lync と通信する際にフル稼働する方法について説明します。これは特に、大規模な Microsoft 環境内に Cisco Jabber を導入する場合や、Microsoft ソリューションを Cisco Unified Communications ソリューションに移行する場合に重要です。豊富なコラボレーション機能をすべて使用できることが分かれば、お客様はこのハイブリッド ソリューションを自信を持って導入でき、従業員はサービスや機能を中断させることなく希望のソリューションを使用できます。同僚、パートナー、ベンダー、および顧客は、必要な情報と専門知識にアクセスできます。

Cisco Unified Communications の詳細については、<http://www.cisco.com/go/uc> をご覧ください。

## トポロジ

このデモンストレーションには、いくつかのエンタープライズ サーバ VM が含まれます。ほとんどのサーバは、管理者レベルのアカウントを使うことで自由に設定できます。管理者アカウントの詳細については、関連するスクリプトの手順およびサーバ詳細表で説明しています。

図 1. デモンストレーションのトポロジ概要

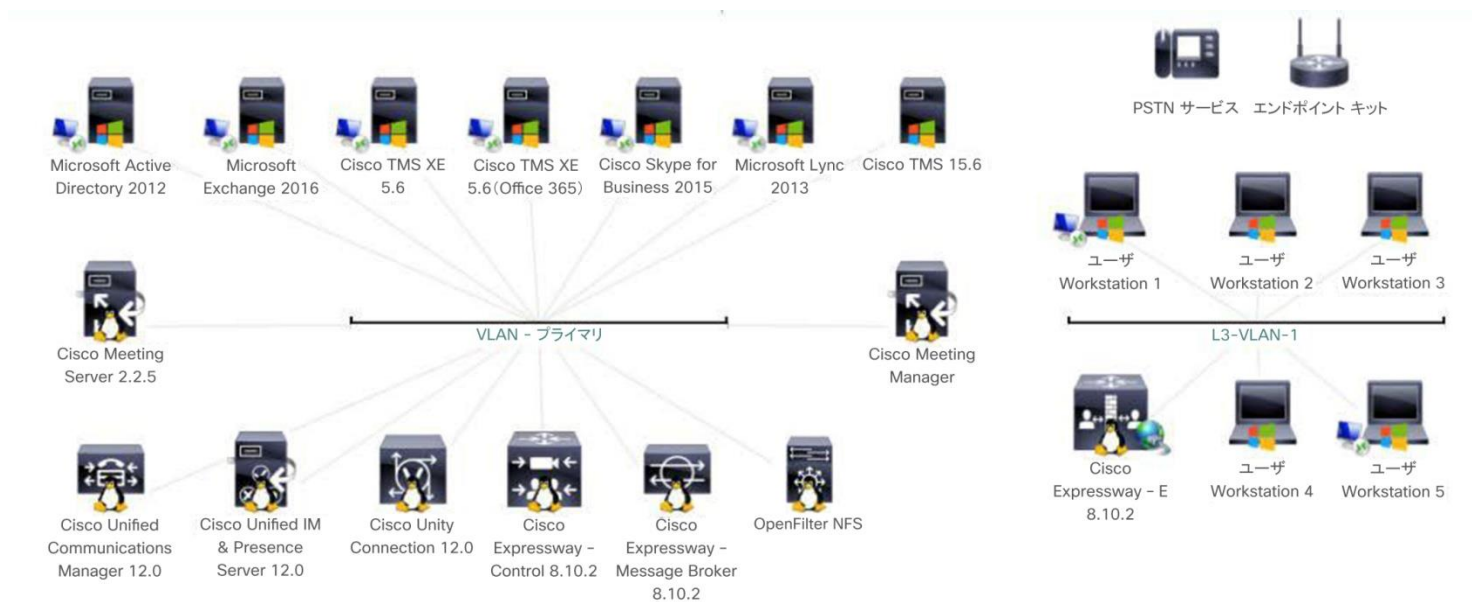


表 2. デモンストレーション サーバ情報

アプリケーション	バージョン	URL	ユーザ名	パスワード
Microsoft Active Directory サーバ	2012	198.18.133.1	Administrator	C1sco12345
Microsoft Exchange Server	2016	198.18.133.2	Administrator	C1sco12345
Cisco Unified Communications Manager	12.0.1.10000-10	<a href="https://cucm1.dcloud.cisco.com">https://cucm1.dcloud.cisco.com</a>	administrator	dCloud123!
Cisco Unified IM/Presence サーバ	12.0.1.10000-12	<a href="https://cup1.dcloud.cisco.com">https://cup1.dcloud.cisco.com</a>	administrator	dCloud123!
Cisco Unity Connection サーバ	12.0.1.10000-8	<a href="https://cuc1.dcloud.cisco.com">https://cuc1.dcloud.cisco.com</a>	administrator	dCloud123!
Cisco TelePresence Management Suite	15.6	<a href="https://tms1.dcloud.cisco.com">https://tms1.dcloud.cisco.com</a>	administrator	C1sco12345
Cisco TelePresence Management Suite Extension for MS	5.6	198.18.135.36	administrator	C1sco12345
Cisco TelePresence Management Suite Extension for O365	5.6	198.18.135.87	administrator	C1sco12345
Cisco Expressway Server – C	X8.10.2	<a href="https://vcsc.dcloud.cisco.com">https://vcsc.dcloud.cisco.com</a>	admin	dCloud123!
Cisco Expressway Server – E	X8.10.2	<a href="https://vcse.dcloud.cisco.com">https://vcse.dcloud.cisco.com</a>	admin	dCloud123!
Cisco Expressway Server – Message Broker	X8.10.2	<a href="https://vcs-mb.dcloud.cisco.com">https://vcs-mb.dcloud.cisco.com</a>	admin	dCloud123!
Cisco Meeting Server	2.2.7	<a href="https://198.18.134.175:445">https://198.18.134.175:445</a>	admin	dCloud123!
Cisco Meeting Manager	1.0.0.44	<a href="https://cmm.dcloud.cisco.com">https://cmm.dcloud.cisco.com</a>	administrator	C1sco12345
OpenFiler NFS	ESA 2.99.1	198.18.135.39	openfiler	dCloud123!
Microsoft Lync 2013	2013	198.18.133.161	dcloud\administrator	C1sco12345
Microsoft Skype for Business 2015	2015	198.18.134.244	dcloud\administrator	C1sco12345
Workstation 1	Windows 10 Pro N	198.18.1.36	DCLOUD\amckenzie	dCloud12345!
Workstation 2	Windows 10 Pro N	198.18.1.37	DCLOUD\aperez	dCloud12345!
Workstation 3	Windows 10 Pro N	198.18.1.38	DCLOUD\mcheng	dCloud12345!
Workstation 4	Windows 10 Pro N	198.18.1.39	DCLOUD\wwhitman	dCloud12345!
Workstation 5	Windows 10 Pro N	198.18.1.40	DCLOUD\cholland	dCloud12345!

## 事前設定済みのユーザ

このコンテンツには、スクリプト形式のシナリオと、ソリューションの機能を実例で示すために事前設定されたユーザとコンポーネントが含まれています。コンポーネントのほとんどは、管理ユーザ アカウントを使用して任意の設定が可能です。コンポーネントへのアクセスに使用する IP アドレスとユーザ アカウント資格情報は、アクティブ セッションの [トポロジ (Topology)] メニューのコンポーネント アイコンをクリックして確認するか、それらを必要とするシナリオ内の手順で確認できます。

表 3. デモンストレーションの事前設定ユーザ情報

ユーザ名	ユーザ ID	パスワード	ロール	エンドポイント デバイス	URI
Adam McKenzie	amckenzie	dCloud12345!	セールス エンジニア	任意の Cisco EX、DX、または SX デバイス 任意の Cisco 88XX または 89XX シリーズ IP Phone Workstation 1 (Cisco Jabber for Windows を使用)	amckenzie@dcloud.cisco.com
Walt Whitman	wwhitman	dCloud12345!	テクニカル サポート エンジニア	Workstation 4 (Microsoft Lync を使用)	wwhitman@dcloud.cisco.com

注: 表 3 に記載されているデバイスは、事前設定済みのシナリオに基づく推奨デバイスです。Cisco Unified Communications Manager にはセルフプロビジョニング機能が搭載されているため、利用可能であれば、任意のデバイスを任意のユーザに割り当てることができます。

## はじめに

### デモンストレーションの前に

Cisco dCloud では、実際の対象者の前でプレゼンテーションを行う前に、アクティブなセッションを使用して、このドキュメントのタスクを実施しておくことを強く推奨します。そうすることで、ドキュメントとコンテンツの構成に慣れることができます。

場合によっては、環境を元の構成にリセットするため、このガイドに従った後に新しいセッションをスケジュールする必要があります。

**お客様向けプレゼンテーションを成功させるためには、入念な準備が不可欠です。**

次の手順に従ってデモンストレーションのスケジュールを組み、デモンストレーション環境を設定します。

1. dCloud セッションを開始します。[\[手順を見る\]](#)

**注:セッションがアクティブになるまで最長で 45 分かかることがあります。**

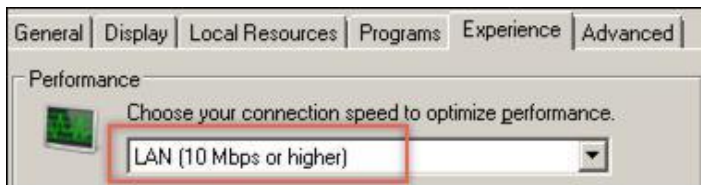
2. [表示 (View)] をクリックして、アクティブ セッションを開きます。
3. **オプション:** ルータとラップトップを接続します。[\[手順を見る\]](#)
4. ルータ経由で接続する場合は、次の手順に進んでください。スタンドアロンのラップトップからセッションに接続する場合は、ラップトップに **Cisco AnyConnect** をインストールし、Cisco dCloud UI で AnyConnect のクレデンシャルを使ってアクセスします。  
[\[手順を見る\]](#)
5. **Cisco AnyConnect VPN** [\[手順を見る\]](#) およびラップトップ上のローカル RDP クライアント[\[手順を見る\]](#) を使用してワークステーションに接続します。複数のラップトップ PC を使用する場合は、1 台ずつ各ワークステーションに接続します。以下の設定を使用して RDP を設定します。
  - [スタート (Start)] > [すべてのプログラム (All Programs)] > [アクセサリ (Accessories)] > [リモートデスクトップ接続 (Remote Desktop)] の順にクリックします。
  - [オプション (Options)] をクリックします。
  - [ローカルリソース (Local Resources)] タブを選択します。
  - [リモートオーディオ (Remote audio)] の [設定 (Settings)] をクリックします。
  - [リモートコンピュータで再生 (Play on remote computer)] を選択します。

図 2. 音声再生



- [OK] をクリックします。
- [エクスペリエンス (Experience)] タブをクリックします。
- 接続速度のメニューで [LAN (10Mbps以上) (LAN (10Mbps or higher))] を選択します。

図 3. LAN の接続速度



- [全般 (General)] タブをクリックし、接続先のホストに基づいて [コンピュータ (Computer)] フィールドと [ユーザ名 (Username)] フィールドに次の表の値を入力し、[接続 (Connect)] をクリックします。
  - **Workstation 1** - IP アドレス: **198.18.1.36**、ユーザ名: **dcloud\amckenzie**、パスワード: **dCloud12345!**
    - ログインするデスクトップ上の Cisco Jabber アイコンと Microsoft Outlook アイコンをダブルクリックします。
  - **Workstation 4** - IP アドレス: **198.18.1.39**、ユーザ名: **dcloud\whitman**、パスワード: **dCloud12345!**
    - ログインするデスクトップ上の Microsoft Lync アイコンと Outlook アイコンをダブルクリックします。
6. **オプション:** デモンストレーション用ワークステーション クライアントではなく、**WebRTC クライアントを Cisco Meeting Server** に表示する場合は、Chrome Web ブラウザを開いて <https://join.dcloud.cisco.com> に移動し、[amckenzie@dcloud.cisco.com](mailto:amckenzie@dcloud.cisco.com) にパスワード: **dCloud12345!** を使用してログインしてください。Cisco Meeting Server および WebRTC の詳細については、Cisco dCloud [製品データシート](#)をご覧ください。必要に応じて、ご使用のスマートフォンで **IOS または Android 向けの Cisco Meeting Server アプリ**を使用することもできます。
7. **オプション:** このデモンストレーションの Collaboration Edge 機能を利用する場合は、それらの機能が適切にプロビジョニングされていることを確認してください。
- Workstation 1 から Firefox を開き、[コラボレーション管理リンク (Collaboration Admin Links)] > [Cisco Video Conferencing Server - Control] の順にアクセスします。ユーザ名: **admin**、パスワード: **dCloud123!** でログインします。表示される可能性のあるすべてのセキュリティ メッセージを受け入れます。

- [設定 (Configuration)] > [ゾーン (Zones)] > [ゾーン (Zones)] タブをクリックし、2 つのトラバーサル クライアント ゾーン (B2B および MRA) の設定詳細情報で SIP ステータスが [アクティブ (Active)] と表示されていることを確認します。DefaultZone で SIP ステータスは [オン (ON)] と表示されます。

**注:**これらのゾーンの SIP ステータスが [アクティブ (Active)] でない場合は、デモンストレーション セッションの障害が発生し、先へ進むことができません。現在のセッションを終了し、新しいセッションを開始してください。これは、自動化エラーが原因で起こることがあります。

図 4. ゾーン ステータス

Name	Type	Calls	Bandwidth used	H323 status	SIP status	Search rule status	Actions
DefaultZone	Default zone	0	0 kbps	On	On		<a href="#">View/Edit</a>
CEtcp-cucm1	Neighbor	0	0 kbps	Off	Active	Enabled search rules: 1	<a href="#">View</a>
CUUCM Neighbor	Neighbor	0	0 kbps	Off	Active	Enabled search rules: 2	<a href="#">View/Edit</a>
VCS-e for B2B video Traversal client	Traversal client	0	0 kbps	Off	Active	Enabled search rules: 2	<a href="#">View/Edit</a>
VCS-E for MRA	Unified Communications traversal	0	0 kbps	Off	Active	No search rules configured	<a href="#">View/Edit</a>

8. **オプション: MRA (モバイルおよびリモート アクセス) エンドポイント**をプロビジョニングします。このデモンストレーション デバイスは、ホーム オフィスなど、他のリモートの作業場所から会議通話に接続しています。この役割は、内線 6024 の **Tanya Adams** に割り当てられています。Tanya は、UCM 12.0 でサポートされているすべての Cisco Unified Communications を使用できます。[\[手順を見る\]](#)
9. **オプション: Collaboration Edge 機能**を使用していない場合は、このデモンストレーションで **Cisco Unified Communications Manager のセルフプロビジョニング**機能を使用して、XYZ Corporate LAN 上の電話機をプロビジョニングしてください。[\[手順を見る\]](#)。電話のプロビジョニングには、**表 3** の内線番号を使用します。
  - **Adam McKenzie** は、**内線 6016** で、**表 1** にある**任意のシスコ デバイス**を使用できます。
10. **オプション: B2B (ビジネス ツー ビジネス) エンドポイント**のドメインを有効にします。このデバイスは、別の会社のオフィスより、社内ネットワークを使用して会議コールに接続しています。このエンドポイント デバイスは dCloud Cisco Unified CM に登録されていないため、インターネットを介して SIP コールを受発信できる場合に限り、**使用可能な任意のエンドポイント デバイス**を使用できます。[\[手順を見る\]](#)。このデモンストレーションでは、サードパーティのドメインとして、**cisco.com** ドメインを使用します。

11. **オプション:TMS でルーム システムを見つけます。**シスコでは、お客様向けプレゼンテーションのために、各地に物理的な会議室を確保しています。次に示すいずれかの場所でプレゼンテーションを行うかのようにこのデモンストレーションを実行する場合、エンドポイントを会議室自体に割り当てて、会議室の電話と同様に扱うことができます。これは、セッションに使用する物理的な会議室の**仮想インスタンス**です。デバイスを Cisco dCloud ルータに接続し、次の表に記載したセルフプロビジョニング ID を使用して、上記のセルフプロビジョニング手順に従います。[\[手順を見る\]](#) [英語]

表 4. 事前設定された会議室の電話

データセンター	会議室の場所	デバイス名/ユーザ名	電話番号	セルフプロビジョニング ID
Americas	New York - George Washington Bridge	USANYC	+19725556051	6051
Americas	RTP - Little House on Prairie	USARTP	+19725556052	6052
Americas	SJC - Johnnie Walker	USASJC	+19725556053	6053
Americas	Toronto - NIPISSING	CANTOR	+19725556054	6054
Americas	Vancouver - Hornby	CANVAN	+19725556055	6055
EMEAR	London - Piccadilly	UKLON	+19725556056	6056
EMEAR	Berlin - Brandenburger	GERBER	+19725556057	6057
EMEAR	Dublin - Galway	IREDUB	+19725556058	6058
EMEAR	Stockholm - Berzelius	SWESKM	+19725556059	6059
EMEAR	Madrid - Mulhacen	SPAMAD	+19725556060	6060
APJC	Singapore - Outram Park	SINORP	+19725556061	6061
APJC	Beijing - Great Wall	CHIBJG	+19725556062	6062
APJC	Shanghai - Gui Zhi Xiang	CHISHG	+19725556063	6063
APJC	Tokyo Rhode Island	JAPTOK	+19725556064	6064
APJC	RTP - Little House on Prairie	USANYC	+19725556051	6065

## セッションの保存

このデモンストレーションのカスタム バージョンを保存するには、次の手順に従う必要があります。カスタム バージョンを保存するには、次の手順に従います。デモのセットアップの一環としてこれを実施しないでください。これを実施するのは、セッションを終了したときのみです。

パブリックにルーティング可能な IP アドレスはデモ セッションごとにダイナミックに割り当てられるため、デモを保存し新しいインスタンスを起動すると、以前取得したものと異なるドメインおよび IP が割り当てられると想定されます。そのため、デモンストレーションを保存するたびに、下記の手順を繰り返す必要があります。この手順は、Collaboration Edge 関連の設定をリセットし、デモンストレーションを正しく保存できるように準備するために実行する必要があります。

**重要:** 下記の手順に従わなかった場合は、保存されたデモンストレーションが破損し、Collaboration Edge 機能が動作しなくなります。このようなシナリオでは、保存されたデモンストレーションを修復できず、変更やカスタマイズがすべて失われます。

**注:** Workstation 2 を変更した場合、その変更がデモンストレーション ガイドに記載されている内容以外の場合は、保存プロセスが失敗する可能性があります。このような原因で破損したセッションは回復不能です。

1. ラップトップ上のローカル RDP クライアントを使用して、デモンストレーション用の **Workstation 2** (198.18.1.37) にアクセスします。  
[手順を見る]。ユーザ名: **dcloud\laperez**、パスワード: **dCloud12345!** でログインします。
2. CMD コンソール ウィンドウを開き、**ResetCerts** と入力します。
3. Collab Edge 証明書のリセットには 15 ~ 20 分かかります。プロセスが終了するまで何も行わないでください。特に、スクリプトが完了するまでは、Workstation 2 の操作はしないでください。
4. AD スクリプトのリセット: AD1 サーバ(198.18.133.1)に RDP 接続します。ユーザ名: **DCLLOUD\administrator**、パスワード: **C1sco12345** でログインします。
5. タスクバーからファイル エクスプローラを開き、**C:\dcloud** に移動します。
6. ファイル **resetUPN.ps1** を右クリックし、[PowerShellで実行(Run with PowerShell)] をクリックします。
7. Mail スクリプトのリセット: Exchange サーバ(198.18.133.2)に RDP 接続します。ユーザ名: **DCLLOUD\administrator**、パスワード: **C1sco12345** でログインします。
8. タスクバーからファイル エクスプローラを開き、**C:\dcloud** に移動します。
9. ファイル **reset\_exchange.ps1** を右クリックし、[PowerShellで実行(Run with PowerShell)] をクリックします。
10. Workstation 2 から Firefox ブラウザ セッションを開き、[コラボレーション管理リンク(Collaboration Admin Links)] > [Cisco Video Conferencing Server - Control] の順にアクセスします。ユーザ名: **admin**、パスワード: **dCloud123!** でログインします。表示される可能性のあるすべてのセキュリティ メッセージを受け入れます。
11. Firefox ブラウザ セッションを開き、[コラボレーション管理リンク(Collaboration Admin Links)] > [Cisco Video Conferencing Server - Control] の順にアクセスします。ユーザ名: **admin**、パスワード: **dCloud123!** でログインします。表示される可能性のあるすべてのセキュリティ メッセージを受け入れます。
12. [設定(Configuration)] > [ゾーン(Zones)] > [ゾーン(Zones)] タブをクリックし、2 つのトラバーサル クライアント ゾーンのいずれかをクリックします。設定の詳細情報に SIP ステータスが [失敗(Failed)] と表示されることを確認します。
13. **ピア 1 アドレス**は、**vcse.(collabedge- または cb)999.dc-YY.com** である必要があります。YY はデータセンターに依存し、01 は AMER、02 は EMEAR、03 は APJ です。

図 5. ゾーン設定




14. これで通常のデモ保存プロセスを続行できます。詳細については、Cisco dCloud の [ヘルプ ページ](#) [英語] を参照してください。



# シナリオ 1: Microsoft Lync 2013 と Cisco Unified Communications の相互運用性

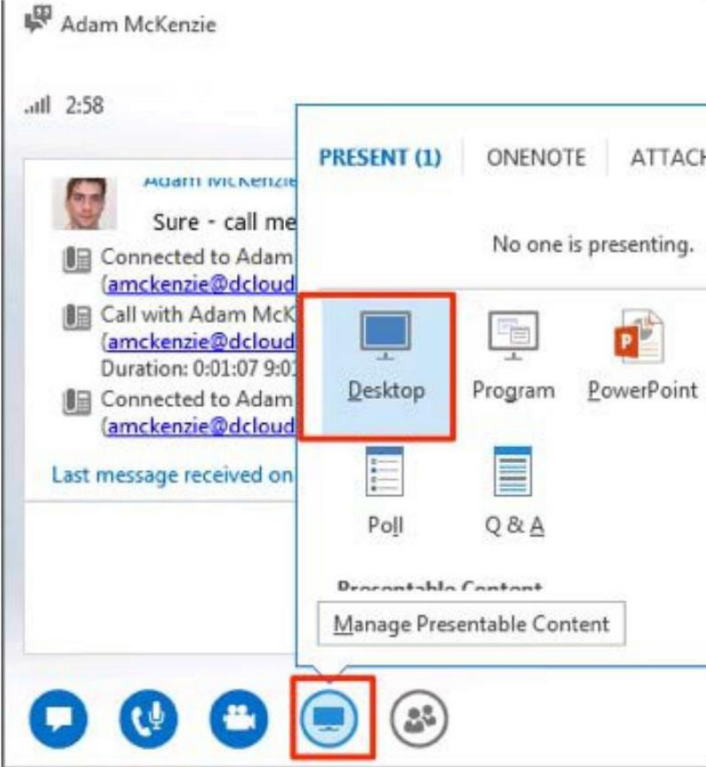
次のシナリオでは、XYZ Corporation が最近 ABC Company を買収したという状況を取り上げます。XYZ Corporation では Microsoft Lync コミュニケーション ソリューションが使用されており、ABC Company では Cisco Unified Communications ソリューションが使用されています。Walt Whitman は XYZ のシステム エンジニアで、ABC Company のエンジニアである Adam McKenzie とともに合同プロジェクトで作業しています。Walt と Adam は異なるコミュニケーション技術を利用していますが、シームレスに連絡を取り合うことができます。

## デモンストレーションの手順

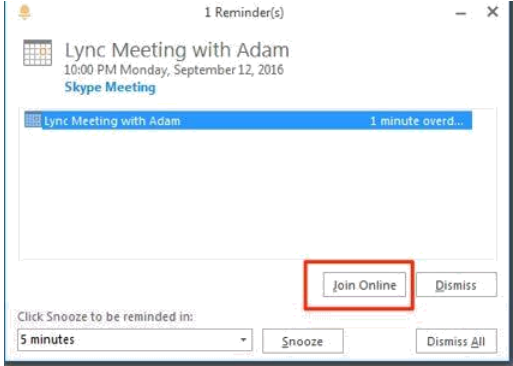
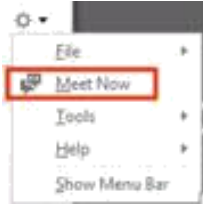
手順	説明の要点	操作
1	<p>こんにちは。Walt Whitman と申します。システム エンジニアとして XYZ Corporation で勤務しています。IM &amp; Presence、音声、およびビデオ会議では、私は Microsoft Lync 2013 を使って同僚と通信しています。</p> <p>XYZ Corporation は、最近 ABC Company を買収しました。ABC Company では、Cisco Unified Communications ソリューションが使用されています。私は ABC Company にいる新たな同僚たちと仕事を始めていますが、彼らとはシームレスにコミュニケーションを取ることができます。その際、相手が、Microsoft Lync と Cisco UC のどちらのクライアントを使用しているかを把握する必要はありません。</p> <p>私は ABC Company との合同プロジェクトで作業しており、主に連絡するのは Adam McKenzie です。それでは、私が Lync クライアントを使用して、Adam とプロジェクトについて連絡を取り、プロジェクトにおける彼の成果の最新ステータスを把握する方法を説明します。</p>	<p>Workstation 4 で(Walt Whitman として) :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• まだログインしていない場合は、<b>198.18.1.39</b> の Workstation 4 に、ユーザ名: <b>dcloud\wwhitman</b> およびパスワード: <b>dCloud12345!</b> を使用してログインします。</li> <li>• ログインすると、Microsoft Lync 2013 および Outlook 2013 の各クライアントが開き、ログインした状態になります。</li> </ul> <p><b>注:</b> Microsoft Lync を使用可能にするには、まず Active Directory と同期させる必要があります。これには、2 ~ 3 分ほどかかります。同期が完了すると、Lync クライアントの右下に表示されていた</p>  アイコンが消えます。

手順	説明の要点	操作
2	<p>こんにちは。私は Adam McKenzie です。私は ABC Company に勤務しています。ここでは、Cisco Unified Communications ソリューションが使用されています。</p> <p>Walt Whitman は XYZ Corporation のシステム エンジニアで、私は彼と一緒に作業しています。私は Walt に、このプロジェクトでの私の担当部分の最新情報を報告することになっています。</p> <p>Cisco Jabber を確認すると、Walt のプレゼンス ステータスが [応答可能 (Available)] になっています。</p>	<p>Workstation 1 で (Adam McKenzie として) :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まだログインしていない場合は、<b>198.18.1.36</b> の Workstation 1 に、ユーザ名 : <b>dcloud\amckenzie</b> およびパスワード : <b>dCloud12345!</b> を使用してログインします。</li> <li>ログインすると、Cisco Jabber for Windows および Outlook 2013 のクライアントが開き、ログインした状態になります。これでこれらのクライアントを使うことができます。クライアントが自動的に開かない場合は、手動で開きます。</li> <li>Cisco Jabber for Windows クライアントで Walt Whitman のプレゼンス ステータスを確認すると、[応答可能 (Available)] になっています。</li> </ul> 

手順	説明の要点	操作
3	<p>Walt Whitman として: Adam McKenzie のプレゼンス ステータスを見ると、応答可能であることが分かります。Adam に連絡して、プロジェクトの最新状況について教えてもらうことにします。</p> <p>Adam から、応答可能なので、少し話をしたいという返事があります。私は Lync を使って、Adam へのビデオコールを開始します。</p>	<p>Workstation 4 で(Walt Whitman として):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft Lync クライアント内で、Adam McKenzie をダブルクリックして、彼に IM を送信します。メッセージには次のように書きます。 <i>こんにちは、Adam。プロジェクトの最新状況を報告してほしいのですが、今、時間はありますか。</i></li> <li>Enter を押して、このメッセージを送信します。</li> </ul> <p>Workstation 1 で(Adam McKenzie として):</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>Cisco Jabber のチャット通知 [ Chats ] をクリックして、Walt Whitman からのメッセージをダブルクリックします。</li> <li>Walt の IM メッセージに「大丈夫です。コールをお願いします」と返信します。</li> <li>Enter を押して、このメッセージを送信します。</li> </ul> <p>Workstation 4 で(Walt Whitman として):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft Lync クライアントで、[ビデオ (Video)] ボタンをクリックします。</li> <li>オーディオ デバイスの設定に関するエラーが表示された場合は、[再試行 (Retry)] をクリックします。</li> </ul> 

手順	説明の要点	操作
4	<p>Adam McKenzie として: 私はプロジェクトについて Walt と少し話したいと思っています。Walt から着信があったので、私は [応答 (Answer)] をクリックします。</p> <p>私たちはプロジェクトについて話します。Walt は自分のデスクトップを共有して、プロジェクトの彼の担当部分に関する情報を表示し、それが私の設計に影響する可能性について説明します。</p> <p><b>価値提案:</b> Microsoft Lync デバイスと Cisco UC デバイスの間で、インスタントメッセージのシームレスな送受信、ビデオコール、デスクトップ表示の共有が可能です。どの操作も、両方のユーザが同じクライアントを使っているかのように簡単に行うことができます。シスコと Microsoft のハイブリッド環境は、機能やサービスを犠牲にしない効果的な運用が可能です。</p>	<p>Workstation 1 で (Adam McKenzie として):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Walt からのコールが着信したら、[応答 (Answer)] をクリックします。Cisco UC デバイスを利用している場合は、必ずこの物理エンドポイントでコールに応答してください。</li> <li>応答すると、両方のユーザのステータスが変更されます。ステータスが、Microsoft Lync 2013 では [通話中 (In a call)]、Cisco Jabber では [通話中 (On a call)] になります。</li> <li><b>オプション:</b> Adam McKenzie 用のデバイスに Cisco EX、DX、または SX を使用している場合は、Workstation 4 に Microsoft Lync からの画面共有が表示されます。<b>Workstation 4</b> の Lync クライアントで、[プレゼンテーションコンテンツの管理 (Manage Presentable Content)] ボタンをクリックして、[デスクトップ (Desktop)] をクリックします。</li> </ul>  <p><b>注:</b>画面共有は、シスコの物理エンドポイントを使用している場合にのみ機能します。Cisco Jabber と Microsoft Lync ソフトウェアを直接接続している場合は機能しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コールを終了します。</li> </ul>

手順	説明の要点	操作
5	<p>(オプション: Adam McKenzie として):</p> <p>Cisco UC の新機能の中で、私が特に気に入っているのは、クラウドベースの CMR ブリッジです。社内外のユーザが私との会議に参加できるようにするために、自分用のブリッジを 1 つ作成する必要があります。私はブリッジを 1 つ設定し、Walt に、ダイヤル インしてこれらの機能をテストするよう依頼します。</p>	<p>(オプション): Cisco UC ユーザは、Lync ユーザも参加できる CMR ブリッジを作成することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Workstation 1 から、Web ブラウザを開き、[コラボレーション管理リンク(Collaboration Admin Links)] &gt; [クラウドCMRセットアップ(Cloud CMR Setup)] の順にクリックします。</li> <li>既存の <b>amckenzie</b> クラウド CMR アカウントを有効化するには、WebEx のユーザ名: <b>amckenzie</b> とパスワード: <b>dCloud12345!</b> を入力します。</li> <li>[アカウントの有効化のために送信(Submit for account activation)] をクリックします。</li> </ul> <div data-bbox="808 680 1513 1352" style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px;"> <p><b>dCloud Collaboration Meeting Room (CMR) Cloud Account Creation/Activation</b></p> <p>Use the form below to create a new CMR Cloud account on the <a href="https://dclouddemo.webex.com">dclouddemo.webex.com</a></p> <p><b>Accounts are deactivated every Friday between 5-7pm EST.</b> If you have already created an account, you will need to activate your account again.</p> <p><i>Make sure to capture the login information now in case you forget.</i></p> <p><b>CMR Cloud New Account Creation</b></p> <p>ALL fields are required for account creation.</p> <p>Webex UserName: <input type="text"/> *Username should not contain any spaces and must not exist on the system</p> <p>WebEx Password: <input type="password"/> *Password must contain: 8 characters, mixed case, and at least 1 number</p> <p>Confirm Password: <input type="password"/></p> <p>First Name: <input type="text"/></p> <p>Last Name: <input type="text"/></p> <p>E-mail: <input type="text"/> *Enter valid e-mail address with @ sign and no spaces. TIP: If you have a domain, use it.</p> <p><input type="button" value="Submit for CMR Cloud account creation"/></p> <hr/> <p><b>CMR Cloud Account Activation</b></p> <p>Webex UserName: <input type="text" value="amckenzie"/></p> <p><input type="button" value="Submit for account activation"/></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>CMR ブリッジのアクティベーション後のメッセージに<b>ホスト PIN</b> が記載されていることに注意してください。</li> </ul> <div data-bbox="808 1457 1513 1575" style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px;"> <p><b>dCloud Collaboration Meeting Room (CMR) Cloud User Activation Status</b></p> <p>You have successfully activated your dCloud CMR Cloud account with username <b>amckenzie</b> at <a href="https://dclouddemo.webex.com/meet/amckenzie">https://dclouddemo.webex.com/meet/amckenzie</a>. You can also dial directly into the CMR from your phone at <a href="tel:+12522222222">+12522222222</a>. The current host PIN is <b>2810</b>.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>Workstation 4 で、Lync クライアントを使用して、そのビデオ エンドポイントのアドレスにコールすることができます。アドレスの形式は、<a href="https://dclouddemo.webex.com">username@dclouddemo.webex.com</a> のようになります。これにより、Walt はクラウドベースの CMR を使用して、Adam のエンドポイントに直接接続されます。</li> <li>Adam が参加するには<b>ホスト PIN</b> を入力し、Walt が参加するには <b>#</b> を押します。</li> <li>CMR 会議を終了して、退出します。</li> </ul>

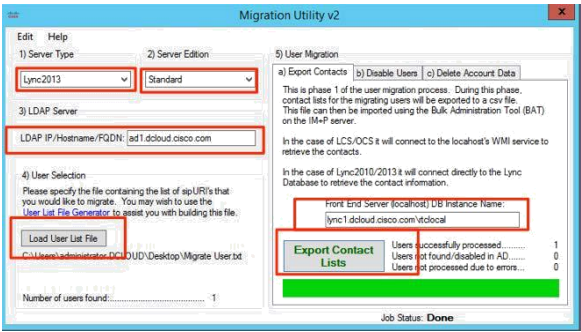
手順	説明の要点	操作
6	<p>Walt Whitman として:</p> <p>Lync ユーザである私は、Lync の [今すぐミーティング (Meet Now)] (アドホック会議用) を使用するか、Microsoft Outlook (スケジュールされた会議用) を使用して会議をスケジュールできます。Cisco Unified Communications ユーザと Lync ユーザを招待することができます。Cisco UC ユーザは、Cisco Meetings Server アプリケーションを使用して会議に参加できます。この接続はエンド ユーザに対して透過的に行われ、これらのユーザは会議の招待を通じて会議に参加することができます。追加の操作は必要ありません。</p> <p>私は Adam に会議への招待を送信するので、Adam は自分の Cisco UC エンドポイントから会議に参加できます。これで、プロジェクトの来週の内容と締め切りについて Adam と話すことができます。</p>	<p>Workstation 4 で (Walt Whitman として):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Outlook を開いて、Adam との会議をスケジュールします。</li> <li>[新しいアイテム (New Items)] ドロップダウン メニューから、[Skype 会議 (Skype Meeting)] を選択します。</li> <li>ポップアップ ウィンドウが開きます。次の詳細を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>[宛先 (To)]: <b>amckenzie@dcloud.cisco.com</b> と入力するか、<b>Adam</b> と入力後、[名前確認 (Check Names)] をクリックして、オートフィル機能を使用します。</li> <li>[件名 (Subject)]: <b>Adam との Lync 会議</b></li> <li>[開始時刻 (Start Time)] および [終了時刻 (End Time)]: ワークステーションの時刻に合わせて変更します (すぐに開始するため)</li> </ul> </li> <li>会議の本文を見ると、[電話による参加 (Join by Phone)] の下にダイヤルする番号 860000 が表示されています。</li> <li>会議の招待で、[送信 (Send)] をクリックします。</li> <li>Walt 側で、ミーティング アラームがすぐにポップアップします。会議に参加するには、[オンラインで参加 (Join Online)] をクリックします。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li><b>オプション:</b> 必要に応じて、アドホックの [今すぐミーティング (Meet Now)] 会議を開始できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Lync クライアントで [設定 (Settings)] アイコンをドロップダウンし、[今すぐミーティング (Meet Now)] を選択します。</li> </ul> </li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>Walt が会議に参加します。会議 ID とダイヤル イン番号を IM で Adam に送信します。</li> </ul>

手順	説明の要点	操作
7	<p>Adam McKenzie として: Walt は前回話したときに、会議用に Outlook 会議の招待を送信すると言っていました。</p> <p>この招待には、私の Cisco IP Phone から直接会議に参加する方法についての手順が記載されています。私は招待を受け入れて、エンドポイントから会議に直接参加します。</p> <p>私は来週の作業と、迫っているプロジェクトの締め切りについて打ち合わせします。</p>	<p>Workstation 1 で (Adam McKenzie として):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Walt からの会議の招待を開きます。電子メールに記載された手順を確認して、SIP エンドポイントから会議にダイヤル インします。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>先ほど述べたように、Cisco Jabber または Cisco UC デバイスから <b>860000</b> にダイヤルします。</li> <li>プロンプトが表示されたら、会議 ID を入力します。最後に # を入力します。</li> <li>これで Lync 会議に参加できます。</li> <li>画面共有が両方で機能していることを確認して、通話を終了します。</li> </ul>

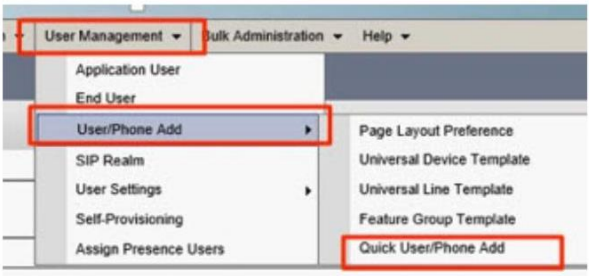
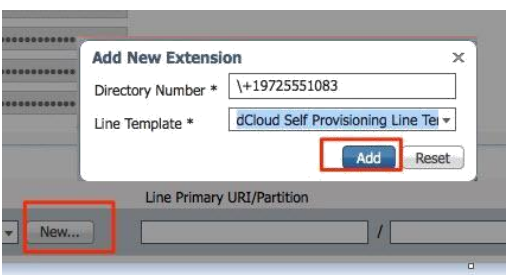
## シナリオ 2: Microsoft Lync から Cisco Unified Communications への移行



このシナリオでは、XYZ Corporation がユーザを Cisco UC に移行します。Walt Whitman は今回移行されるグループに含まれています。

### デモンストレーションの手順

手順	説明の要点	操作
1	<p>こんにちは。私は XYZ Corporation の IT システム管理者です。私のタスクは、ユーザを Microsoft Lync 2013 から Cisco Unified Communications へ移行することです。ABC Company が Cisco UC ソリューションを使用しているので、当社もこれを会社全体の優先ソリューションとすることにしました。</p> <p>Lync ユーザ アカウントの次のグループを Cisco Unified Communications に移行する準備が整っています。このグループには、私の友人である Walt Whitman が含まれています。この移行は、シンプルな手順で完了します。</p> <p>シンプルな手順で、Microsoft Lync アカウントを無効化し、Cisco Unified Communications アカウントの作成で使用する情報をエクスポートすることができます。</p> <p>まず、MUMUv2 ツールを開きます。</p>	<p>物理ラップトップから:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>198.18.133.161 の Lync サーバに、RDP を使用し、<b>dcloud\administrator</b> としてパスワード: <b>C1sco12345</b> でログインします。</li> <li>リモート サーバのデスクトップで <b>MUMUv2.exe</b> を開きます。</li> <li>以下の情報を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>[サーバタイプ (Server Type)]: [Lync 2013]</li> <li>[サーバエディション (Server Edition)]: [標準 (Standard)]</li> <li>[LDAP]: <a href="http://ad1.dcloud.cisco.com">ad1.dcloud.cisco.com</a></li> <li>[ユーザリストファイルのロード (Load User List File)]: クリックして、デスクトップの <b>Migrate User</b> ファイルを選択</li> <li>[フロントエンドサーバ (Front End Server)]: <a href="http://lync1.dcloud.cisco.com/rtclocal">lync1.dcloud.cisco.com/rtclocal</a></li> </ul> </li> <li>[連絡先リストのエクスポート (Export Contact Lists)] をクリックします。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>このジョブの色が緑になるのを確認します。[ユーザの無効化 (Disable Users)] タブをクリックして、[ユーザの無効化 (Disable Users)] をクリックします。</li> <li>ユーザの無効化が完了したら、[アカウントデータの削除 (Delete Accounts Data)] という名前の 3 つ目のタブをクリックします。</li> </ul> <p><b>注:</b> ユーザ アカウントが無効化されるまでに数分かかる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>[ユーザの無効化の検証 (Validate Users Are Disabled)] をクリックします。緑色で [成功 (Success)] と表示されます。</li> <li>[ユーザデータの削除 (Delete User Data)] をクリックします。これで、Walt の Microsoft Lync サービスが無効化されました。</li> </ul>



手順	説明の要点	操作
2	次に、私は [ユーザ/電話のクイック追加 (Quick User/Phone Add)] を実行し、Cisco UC アカウントのサービスをプロビジョニングします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブラウザで新しくタブを開き、Cisco dCloud ホームページで [コラボレーション管理リンク (Collaboration Admin Links)] &gt; [Cisco Unified Communications Manager Server] にアクセスします。</li> <li>ユーザ名: <b>administrator</b>、パスワード: <b>dCloud123!</b> でログインします。</li> <li>[ユーザ管理 (User Management)] &gt; [ユーザ/電話の追加 (User/Phone Add)] &gt; [ユーザ/電話のクイック追加 (Quick User/Phone Add)] に移動します。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>検索フィールドに <b>walt</b> と入力し、[検索 (Find)] をクリックします。</li> <li>検索結果から、[wwhitman] をクリックします。</li> <li>[内線 (Extensions)] というセクションを探し、その行の + 記号をクリックします。[新規 (New)] をクリックします。</li> <li>ポップアップ ウィンドウが開きます。次の詳細を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>[電話番号 (Directory Number)]: <b>\+19725551083</b></li> <li>[回線テンプレート (Line Template)]: [dCloud のセルフプロビジョニング回線テンプレート (dCloud Self Provisioning Line Template)]</li> </ul> </li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>[追加 (Add)] をクリックして、左上の [保存 (Save)] をクリックします。</li> <li>電話番号が保存されると、[デバイスの管理 (Manage Devices)] ボタンがアクティブになります (右上角)。</li> </ul>

手順	説明の要点	操作
3	<p>これで、Walt のアカウントに対してエンドポイント デバイスをプロビジョニングすることができます。</p> <p>Walt Whitman のユーザ アカウントが、Microsoft Lync から Cisco Unified Communications に移行されました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [デバイスの管理(Manage Devices)] ボタンをクリックします。</li> <li>• [新規電話の追加(Add New Phone)] ボタンをクリックします。</li> <li>• 以下の情報を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ [製品タイプ(Product Type)]:[Cisco Unified Client Services Framework]</li> <li>○ [デバイスのプロトコル(Device Protocol)]:[SIP]</li> <li>○ [デバイス名(Device Name)]:<b>UCSFWWHITMAN</b></li> <li>○ [ユニバーサルデバイステンプレート(Universal Device Template)]:[dCloud 自動登録デバイスのテンプレート(dCloud Auto-reg Device Template)]</li> </ul> </li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>• [電話の追加(Add Phone)] をクリックします。</li> <li>• 上部のドロップダウン メニューから、[ユーザ管理(User Management)] &gt; [エンドユーザ(End User)] にアクセスします。</li> <li>• 検索フィールドに <b>walt</b> と入力し、[検索(Find)] をクリックします。</li> <li>• 検索結果から、[wwhitman] をクリックします。</li> <li>• 下方向にスクロールし、[サービスの設定(Service Settings)] セクションを見つけます。</li> <li>• [ホームクラスタ(Home Cluster)] と [Unified CM IM and Presenceのユーザを有効化(Enable User for Unified CM IM and Presence)] チェックボックスをクリックします。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>• 左上の [保存(Save)] をクリックします。</li> <li>• ユーザの移行が完了しました。Workstation 4 に戻って、Walt Whitman としてログインできます。</li> </ul>

手順	説明の要点	操作
4	<p>Walt Whitman として：            たった今、私のアカウントが、Microsoft Lync から Cisco UC に移行されたという連絡をシステム管理者から受け取りました。私のマシンには Cisco Jabber クライアントがロードされており、アカウントはアクティブです。私は Cisco Jabber を開いて、このクライアントが正しく接続されて機能していることを確認します。</p> <p>私は自分の仕事を中断することなく続けることができます。</p>	<p>Workstation 4 で(Walt Whitman として)：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Lync クライアントが起動中の場合は、終了します。</li> <li>• デスクトップの [Cisco Jabber] ショートカットをダブルクリックして開きます。</li> <li>• <b>wwhitman</b> として、パスワード：<b>dCloud12345!</b> を使用してログインします。</li> <li>• Adam McKenzie にコールするか IM を送信して、この機能について通知します。</li> </ul>

©2018 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2018年2月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107 - 6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先